

UVインキ

UV フラッシュリード 墨

高速プリンターのトナー定着方式として、キセノンランプフラッシュライト定着方式と加熱ローラー定着方式とがあります。このうち、フラッシュライトによる定着方式において通常のカーボンブラック入りUV墨インキを使用した場合にはインキ被膜の脆化現象が発生し、ひどい場合には墨インキの変色や消色などのトラブルが発生することがあります。このため、墨インキに使用しているカーボンブラックを他の顔料で代替し、黒く見えるよう調整したインキにて解決しておりました。しかしながら、カーボンブラックを使用していないためにPCS値が低く、リードカラーやタイミングマークとして使用することができませんでした。

『UVフラッシュリード墨』は、フラッシュ定着時の脆化現象が少なく、かつリードカラーとして使用できる墨インキです。

■ 特徴

『UV フラッシュリード 墨』には2タイプの品種製品を揃えており、それぞれの特徴は以下の通りとなります。

【 UV RNC フラッシュリード 墨 】

- ▶ 墨濃度が高く、リード適性が良好である。
- ▶ 乾燥能力が高く、高速印刷が可能。
- ▶ 皮膜強度(耐熱性・耐摩擦性等)が良好である。
- ▶ 印刷適性が良好である。

【 UV RNC フラッシュリード 墨 MR-H 】

- ▶ 『UV RNC フラッシュリード 墨』と比較して、UV硬化性は若干劣りますが、密着性を向上させることでよりフラッシュ印字の際の耐性を上げたタイプです。

■ 使用上の注意

- ▶ フラッシュランプの出力によっては、脆化・変色が発生することが考えられます。フラッシュライトプリンター実機による予備試験により問題のないことをご確認ください。
 - ▶ インキを盛り過ぎた場合にも、乾燥不良やフラッシュ定着時の脆化・変色が起こることがあります。
 - ▶ 他のカーボンブラック顔料入り墨インキが混入いたしますと、十分な性能を得られませんのでご注意ください。
 - ▶ フラッシュ脆化耐性は、『UV FL 墨(フラッシュライト対応墨)』>『UV フラッシュリード 墨』>フォーム用一般UV墨の順になります
 - ▶ 希釈剤を用いる場合は、“UV DGレジューサー”を5%までの範囲でご使用ください。
 - ▶ インキ盛り過ぎやランプの劣化により、硬化不良・密着不良が発生する可能性がありますので、ご注意ください。
 - ▶ 助剤・洗浄剤・版材については、UVインキ用のものをご使用下さい。
- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

- ▶ 火気に注意し、作業場は十分に換気し、紫外線や直射日光を避けて取り扱って下さい。
- ▶ 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を着用下さい。衣類等に付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けてください。取り扱い後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。
- ▶ 目に入った場合、直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した際は、汚染衣服や靴等の汚れを落とした後、付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流してください。もし、皮膚に炎症やかゆみを生じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- ▶ 本製品を御使用の際には、事前に安全データシート(SDS)を良くお読みください。



2022/01/25 No.W-2

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。